

公社・財団・出資法人関係 資料

公社・財団・出資法人関係
資料

①⑥

①⑦

公社・財団・出資法人関係

1	宝塚市土地開発公社	244
2	逆瀬川都市開発株式会社	245
3	公益財団法人宝塚市スポーツ振興公社	245
4	ソリオ宝塚都市開発株式会社	246
5	公益財団法人宝塚市文化財団	246
6	一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社	247
7	宝塚山本ガーデン・クリエイティブ株式会社	248
8	株式会社エフエム宝塚	248

1 宝塚市土地開発公社

(1) 設立認可、登記

設立認可 昭和48年3月31日
 設立登記 昭和48年4月6日

(2) 設立目的

公共用地、公用地等の取得、造成、管理、処分等を行うことにより地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与する。

(3) 業務内容

ア 次に掲げる土地の取得、造成その他の管理及び処分を行うこと。

(ア) 公有地の拡大の推進に関する法律第4条第1項又は第5条第1項に規定する土地

(イ) 道路、公園、緑地その他の公共施設又は公用施設の用に供する土地

(ウ) 公営企業の用に供する土地

(エ) 当該地域の自然環境を保全することが特に必要な土地

(オ) 史跡、名勝又は天然記念物の保護又は管理のために必要な土地

(カ) 航空機の騒音により生じる障害を防止し、又は軽減するために特に必要な土地

イ 住宅用地の造成事業並びに地域開発のためにする内陸工業用地及び流通業務団地の造成事業を行うこと。

ウ 上記ア及びイの業務に附帯する業務を行うこと。

エ 上記の業務のほか、当該業務の遂行に支障のない範囲内において、次に掲げる業務を行う。

(ア) 上記アの土地の造成（一団の土地に係るものに限る。）又はイの事業の実施と併せて整備されるべき公共施設又は公用施設の整備で地方公共団体の委託に基づくもの及び当該業務に附帯する業務を行うこと。

(イ) 国、地方公共団体その他公共的団体の委託に基づき、土地の取得のあつせん、調査、測量その他これらに類する業務を行うこと。

○平成27年度事業計画

a 公有地取得事業計画

(取得)

事業区分		事業量(㎡)	金額(千円)
公有地取得事業	道路用地	692	195,122

(処分)

事業区分		事業量(㎡)	金額(千円)
公有地取得事業	道路用地	810	158,028
	その他公共用地	3,394	699,206
合計		4,204	857,234

b 附帯等事業

事業区分		事業量(㎡)	金額(千円)
保有地賃貸等事業	土地賃貸	3,877	16,542

2 逆瀬川都市開発株式会社

(1) 設立登記、株式

設立登記	昭和60年12月7日
発行株式総数	19,680株
発行済株式総数	4,920株 (うち宝塚市600株)
額面株式の金額	1株50,000円

(2) 設立目的

- ア 不動産の売買、賃貸および管理業務
- イ 駐車場、駐輪場の管理運営業務
- ウ 商業施設、文化教養施設、娯楽施設およびスポーツ施設の管理運営業務
- エ 店舗販売の促進企画、事務、調査研究および指導業務
- オ 都市計画、都市再開発の計画、調査研究および指導業務
- カ 衣料品、日用雑貨、飲食料品の販売および当選金附証票の受託販売
- キ 収入印紙、郵便切手の売り捌きおよび公衆電話受託業務
- ク たばこ、酒類、清涼飲料水および古物の販売業務
- ケ 有線テレビジョン放送事業業務
- コ 広告代理業務および貨物配送取扱事務
- サ クレジットカード取扱業務
- シ 損害保険の代理業務
- ス 前各号に附帯する一切の業務

3 公益財団法人宝塚市スポーツ振興公社

(1) 設立認可、登記、基本財産

設立認可	昭和62年4月1日
設立登記	昭和62年4月1日
基本財産	302,711,000円 (宝塚市の出資金302,000,000円)

平成24年4月1日公益財団法人へ移行

(2) 設立目的

この法人は、スポーツ及びスポーツレクリエーション等に関する事業を行い、宝塚市民の体育・スポーツ等の振興を図ることにより、心身ともに健全な人間形成に寄与することを目的とする。

(3) 事業内容

- ア スポーツ及びスポーツレクリエーション等の振興事業
- イ 宝塚市から受託する社会体育施設の管理運営事業
- ウ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4 ソリオ宝塚都市開発株式会社

(1) 設立登記、株式

設立登記	平成4年3月7日
発行株式総数	92,000株
発行済株式総数	37,030株 (うち宝塚市18,300株)
額面株式の金額	1株50,000円

(2) 設立目的

- ア 不動産の売買、賃貸、管理および仲介業務
- イ 駐車場、駐輪場の管理運営業務
- ウ 店舗、倉庫、文化教養施設、遊技機およびスポーツ施設の管理運営業務
- エ 店舗の販売促進の企画、調査研究および指導の受託業務
- オ 都市計画、都市再開発の計画、調査研究および指導の受託業務
- カ 衣料品、日用雑貨、飲食料品の販売および宝くじの受託販売
- キ 収入印紙、郵便切手の売り捌きおよび公衆電話受託業務
- ク たばこ、酒類、清涼飲料水および古物の販売業務
- ケ 広告代理業務および貨物配送取扱業務
- コ 店舗のクレジットカードによる売上代金の決済代行業務
- サ 損害保険代理業務および生命保険の募集に関する業務
- シ 前各号に附帯する一切の業務

5 公益財団法人宝塚市文化財団

(1) 設立認可、登記、出資金

設立認可	平成6年4月1日
設立登記	平成6年4月1日
出捐金	401,491,090円（宝塚市より全額出資） 平成24年4月1日公益財団法人へ移行

(2) 設立目的

地域住民の自主的な参加を得て、地域の文化活動の振興に資する事業を行うとともに、地域住民にすぐれた芸術文化を提供し、もって地域文化の創造及び発展に寄与することを目的とする。

(3) 事業内容

- ア 芸術文化鑑賞事業等の開催
- イ 地域の芸術文化活動の育成および援助
- ウ 地域の文化に関する情報の収集および提供
- エ 芸術文化施設の管理運営
- オ その他目的を達成するために必要な事業

6 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

チ その他設立の目的を達成するために必要な事業

(1) 設立認可、登記、出資金

設立認可	平成7年3月9日
設立登記	平成7年3月15日
出 損 金	300,000,000円
	(宝塚市より全額出資)

(2) 設立目的

高齢者、障がい者、勤労者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究、相談、情報提供等を行うとともに、宝塚市、宝塚市社会福祉協議会等との連携を図りつつ、市民の参加と協力を得て、高齢者等に対して総合的な保健福祉サービス及び育児支援サービスを提供することにより、宝塚市における心豊かな福祉コミュニティの形成に寄与することを目的とする。

(3) 事業内容

- ア 高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究
- イ 高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発
- ウ 介護員及び市民に対する介護技術等の研修
- エ 高齢者等に対する保健福祉サービス及び高齢者等の生活に関する相談並びに情報提供
- オ 訪問看護事業
- カ 介護老人保健施設事業
- キ 居宅介護支援事業
- ク 訪問介護事業
- ケ 訪問入浴介護事業
- コ 訪問リハビリテーション事業
- サ 通所介護事業
- シ 通所リハビリテーション事業
- ス 短期入所療養介護事業
- セ 宝塚市からの高齢者等に対する保健福祉サービスに関する事業の受託
- ソ 高齢者等に対する有償保健福祉サービスの提供
- タ 宝塚市からのファミリーサポートセンター事業の受託

7 宝塚山本ガーデン・クリエイティブ株式会社

(1) 設立登記、株式

設立登記	平成11年11月11日
発行株式総数	4,000株
発行済株式総数	1,000株（うち宝塚市510株）
額面株式の金額	1株50,000円

(2) 設立目的

- ア 植木・花き産業に関する調査研究、宣伝及び広告業務
- イ 植木・花きに関するデザイン情報等の収集分析及び提供業務
- ウ 植木・花き、その他園芸用品等の展示及び販売
- エ 不動産の売買、賃貸、管理、斡旋及び仲介
- オ 店舗、倉庫、植木振興施設、公園、駐車場、駐輪場の管理
- カ 喫茶店の経営
- キ 損害保険代理業務及び生命保険の募集等に関する業務
- ク 各種イベント、キャンペーン等販売促進に関する行事の主催業務
- ケ 前各号に付帯する一切の業務

8 株式会社エフエム宝塚

(1) 設立登記、株式

設立登記	平成12年4月19日
発行株式総数	6,400株
発行済株式総数	1,600株（うち宝塚市800株）
額面株式の金額	1株50,000円

(2) 設立目的

- ア 放送法による一般放送事業
- イ 放送番組及び広告宣伝の企画、制作並びに請負
- ウ 催事の企画、制作及び運営
- エ 書籍、雑誌その他の印刷物の企画、制作及び出版
- オ 情報処理サービス業及び情報提供サービス業
- カ コンピューターのソフトウェアの開発
- キ 電気工事業
- ク 放送利用料の徴収受託業務
- ケ 前各号に付帯する一切の事業

資 料

1	歴代市長・副市長・教育長	250
2	市章	251
3	宝塚市歌	251
4	都市宣言	251
5	市民憲章	254
6	市花・市木・市鳥	254
7	市のあゆみ	255

1 歴代市長・副市長・教育長

(1) 歴代市長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
田中 九右衛門	昭和29. 5. 8	昭和31. 5. 14	友金 信雄	昭和62. 2. 7	平成3. 2. 6
田中 詮徳	昭和31. 6. 10	昭和35. 6. 9	正司 泰一郎	平成3. 2. 7	平成7. 2. 6
田中 詮徳	昭和35. 6. 10	昭和39. 6. 9	正司 泰一郎	平成7. 2. 7	平成11. 2. 6
田中 詮徳	昭和39. 6. 10	昭和43. 6. 9	正司 泰一郎	平成11. 3. 14	平成15. 3. 13
北 俊三	昭和43. 6. 10	昭和45. 12. 23	渡部 完	平成15. 4. 27	平成18. 3. 6
友金 信雄	昭和46. 2. 7	昭和50. 2. 6	阪上 善秀	平成18. 4. 9	平成21. 2. 27
友金 信雄	昭和50. 2. 7	昭和54. 2. 6	中川 智子	平成21. 4. 19	平成25. 4. 18
友金 信雄	昭和54. 2. 7	昭和58. 2. 6	中川 智子	平成25. 4. 19	在職中
友金 信雄	昭和58. 2. 7	昭和62. 2. 6			

(2) 歴代副市長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
近藤 恭一郎	昭和29. 11. 5	昭和33. 11. 4	矢野 堯久	平成4. 4. 1	平成8. 3. 31
岩崎 義雄	昭和33. 12. 16	昭和37. 12. 15	岩下 光頌	平成5. 1. 1	平成8. 12. 31
岩崎 義雄	昭和37. 12. 16	昭和41. 12. 15	矢野 堯久	平成8. 4. 1	平成12. 3. 31
岩崎 義雄	昭和41. 12. 16	昭和43. 7. 25	坂上 元章	平成9. 4. 1	平成13. 3. 31
西中 嘉悦	昭和43. 8. 13	昭和47. 8. 12	島野 高治	平成12. 4. 1	平成15. 3. 31
村上 清	昭和46. 7. 2	昭和50. 7. 1	坂上 元章	平成13. 4. 1	平成15. 6. 30
村上 清	昭和50. 7. 2	昭和54. 7. 1	村野 一郎	平成15. 6. 18	平成19. 1. 31
村上 清	昭和54. 7. 2	昭和58. 7. 1	上田 敏和	平成15. 10. 1	平成19. 3. 31
村上 清	昭和58. 7. 2	昭和62. 7. 1	坂井 豊	平成19. 4. 1	平成23. 3. 31
衣川 俊雄	昭和59. 4. 1	昭和63. 3. 31	山下 稔	平成19. 7. 1	平成23. 6. 30
村上 清	昭和62. 7. 2	平成3. 7. 1	山下 稔	平成23. 7. 1	平成27. 6. 30
衣川 俊雄	昭和63. 4. 1	平成3. 3. 31	井上 輝俊	平成27. 7. 1	在職中
村上 清	平成3. 7. 2	平成4. 12. 31			

※平成19年3月31日以前の役職名は助役

(3) 歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
鶴田 幸雄	昭和31. 10. 1	昭和43. 9. 30	勝山 浩司	平成16. 6. 21	平成19. 6. 30
谷添 利一	昭和43. 10. 1	昭和52. 3. 31	岩井 宏	平成19. 7. 1	平成20. 9. 30
高見 勝	昭和52. 4. 1	昭和39. 6. 9	滝浪 泰	平成20. 10. 1	平成21. 11. 20
谷田 隆	昭和59. 10. 1	平成元. 9. 30	伊達 達治	平成21. 11. 21	平成24. 3. 31
福田 秀治	平成元. 10. 1	平成8. 9. 30	井上 輝俊	平成24. 4. 1	平成27. 6. 30
樋口 健	平成8. 10. 1	平成10. 7. 12	須貝 浩三	平成27. 7. 1	在職中
衣川 和夫	平成10. 7. 13	平成16. 3. 31			

2 市 章

市章「タカラ」の文字を表し、まん中の太い線は武庫川をはさんで兩岸の融和を意味するかけはしを表現したものである。

(昭和29年4月10日制定)



3 宝塚市歌

作詞 西川 好次郎 作曲 酒井 協

I	II	III
見よ おどる 光と 夢と	吹き通う 世紀の風よ	つらなるは みどりの 起伏
世の朝の さやかな 息吹	うちかわす 文化の脈よ	ただようは 希望の 湯の香
ああ ここに	ああ ここに	ああここに
武庫の流れも 映ゆるまで	丘も ちまたも 揺れたちて	明日を 呼びつつ 人の和の
かがやく都 うるわしや	伸びゆく都 たくましや	ほほえむ都 たたえよや
宝塚市の この若さ	宝塚市の この力	宝塚市の この栄

(昭和29年4月1日制定)

4 都市宣言

(1) 安全都市宣言

わが宝塚市は、観光文化都市として、いまや大きく発展の途上にある。しかし、この発展の陰には、交通事故や不慮の災害のため不幸にもとうとい生命を失い、障害の身となった市民も少なくない。

本市の現状としては、市勢の伸展と相まって交通量も著しく増大し、とくに最近の山地開発による大型車両の増加は、市民を交通事故の危険にさらしている。また一方次第に増加の傾向にある工場、作業所の職場

災害もゆるがせにできないものがある。こういった交通、災害その他火災、公害などの都市火災そのほか市民の安全と福祉をはかる総合対策の樹立が必要とされるところである。そこで、わが宝塚市は、市内のあらゆる組織を結集し、7万市民の安全と平和と市民ひとりひとりがお互いに守るため、市民の総力をあげてこの運動を強力に推進し、理想的な明るい住みよい町にするため、ここに宝塚市を「安全都市」とすることを宣言する。

昭和37年6月28日

宝 塚 市

(2) 非核平和都市宣言

青くすみきった空、清らかな武庫川の流れ、縁あふれる六甲・長尾の山々…。この素晴らしい自然と明るくおだやかな暮らしは宝塚市民すべての願いです。

このような私たちの願いに反し、世界では依然として、人類同士の悲しむべき争いが絶えず、しかも地球上の全生命を滅ぼすことのできる核兵器が蓄積されてきました。

しかし、人類の平和への切実な願いが全世界に高まり、大きなうねりとなって、ようやく戦略核兵器の縮小や、各地域の紛争解決への明るい兆しが見えようとしています。

私たちは、このようなときにこそ、戦争を、そして核兵器をなくし、世界の恒久平和を強く願わずにはいられません。

ここに、宝塚市は憲法の平和精神に基づき、恐るべき核兵器の廃絶を願い、永遠の平和社会を築くことを誓い、「非核平和都市」とすることを宣言します。

平成元年 3 月 7 日

宝 塚 市

(3) 男女共同参画都市宣言

六甲、長尾両山系の緑と、市域の中央を流れる武庫川に象徴される、豊かな自然に恵まれた美しいまち宝塚。

宝塚市では、第三次総合計画において、「人間性の尊重」を基本とした心豊かなまちづくりを進めるため、将来の都市像を「水と緑とふれあいのまち宝塚」と定め、自然と心の豊かな緑住文化都市の創造を目指して、様々な施策に取り組んでいます。

この中において、女性関連施策についても重要な課題として取りあげ、鋭意取り組みを進めているところです。

社会の様々な分野に女性と男性がともに参画する機会が確保され、全ての人が個人として、自分らしく生き生きと豊かな充実した生活を送ることができるとともに、男女がともに責任を分かち合う、男女共同参画社会の実現にむけての取り組みが必要です。

このため、宝塚市では、総理府の「男女共同参画宣

言都市奨励事業」の趣旨に賛同し、「男女共同参画宣言都市」として次の取り組みを進めます。

一、男女共同参画社会実現のための教育・啓発を推進するため、学校・家庭・地域・職場などにおいて、男女平等教育を推進します。また、「男は仕事、女は家事・育児」といった性別による固定的な役割分担意識の解消に努めるとともに、男女平等の観点に立った、性についての認識の浸透を図ります。

一、男女共同の社会参画を促進するため、政策・方針決定の場への女性の参画を促進します。また、家庭生活・地域活動・職場生活における男女の共同参画を推進するとともに、国際交流活動や生涯学習活動への参画を促進し、女性の自主的活動に対する支援と連携を促進します。

一、女性の経済的自立の促進と労働条件の整備のため、女性の就労環境の整備・充実を図ります。また、就労及び起業のための情報・相談事業や就業能力開発・向上のための学習事業の充実を努めます。

一、女性の健康の保持増進と母性の保護のため、母子保健を充実させるとともに、医療・保健サービスや心身の健康のための相談機能の充実を努めます。

一、長い生涯をいきいきと暮らすことができるよう、高齢女性の生活安定・福祉の充実を努めます。また、障害をもつ女性の自立と社会参加を促進するとともに、育児・介護の支援施策の充実を努めます。

一、男女共同参画社会の実現に向けて、総理府男女共同参画室をはじめとする国の機関、及び他の地方公共団体、企業との連携と協力に努めます。

一、男女共同参画社会の実現に向けて、総合的な推進を図るため、女性問題解決のための基本的な計画を策定します。

また、男女平等推進委員会を設置するとともに、女性センターの運営・事業や庁内推進体制の充実を図ります。

一、来年、中国の北京において開催される第四回世界女性会議をはじめとする世界的な動きを視野にいれ、男女共同参画社会の実現をめざします。

平成6年10月21日

宝 塚 市

(4) 人権尊重都市宣言

すべての人々の基本的な人権が尊重され、平和で、自由で、平等な社会で、幸せに暮らせることは人類共通の願いです。

しかし、私たちの身のまわりには、今なお、さまざまな差別や人権侵害があつてをたちません。

人が人としてお互いに尊び合い、すべての人びとの人権が保障される、明るく住みよい地域社会を築きあげるために、より積極的な取り組みが求められています。

人権は、市民一人ひとりの不断の努力によって守り、築かなければなりません。

水と緑とふれあい・共生のまちをめざす、私たちのまち宝塚市は、ここに思いを新たにして、本市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

平成8年3月5日

宝 塚 市

(5) 環境都市宣言

私たちの地域は、バランスのとれた生き物のようなもので、人類のみならず、すべてのいのちの源であり、地球の未来は、その恵みによって生きている人間の智慧と行動に大きくゆだねられています。

私たちのまち宝塚は、六甲、北摂の山なみ、武庫川の流れに象徴される豊かな自然や歴史的、文化的な資源に恵まれた美しいまちです。私たちは、このすばらしい環境を将来の世代に引き継いでいかなければなりません。

私たちは、宝塚を訪ねる人たちとともに、このかけがえのない環境を大切にしながら、今までの暮らしや、いとなみを見直し、一人ひとりの小さな行動を積み重ね、健全で恵み豊かな環境をともにはぐくみ、大きな「宝の塚」を築きあげて「環境都市・宝塚」とすることを、ここに宣言します。

○ 私たちは、水と緑きらめく、魅力あふれるまちをつくれます。

○ 私たちは、人と自然や生き物がともに生きていくまちをつくれます。

○ 私たちは、ものを大切にし、ごみの減量やエネルギーなどの節約、リサイクルの推進に努めます。

平成8年9月10日

宝 塚 市

(6) 健康都市宣言

すこやかなからだと豊かなこころと

うるおいに満ちた社会が

この自然と音楽の彩りにあふれた

美しいまちに住む

私たち市民の幸せと^{よろこ}びを

つくります

市民一人ひとりが

みずからの健康づくりにつとめ

ともに手をつないで

この宝塚を未来に向け

あたたかい「こころのまち」に

育てます

○ 人それぞれに応じた健康をめざし、無理をせず楽しみながら取り組みましょう。

○ 健康を支える栄養、運動、休養のほどよいバランスに気を配りましょう。

○ 笑いあふれる家庭やコミュニティでの交流を大切にし、健康づくりの輪を広げましょう。

平成10年9月8日

宝 塚 市

5 市民憲章

宝塚市民であることに誇りと責任をもって、郷土を築くために努力目標を定め、すべての市民が実行しようという趣旨で市民憲章を制定したものである。市民みずからの積極的な総意によってつくりたいという市長の願いから昭和43年11月市内各種団体代表者の賛同を得て市民憲章制定委員会が発足した。委員会は小委員会を設けて、市民憲章の構成と制定方法を検討し、昭和44年1月25日から2月20日まで広く一般から公募した。144名の応募者があったが、応募者を年齢別に見ると40代の34人をトップに幅広い年代から応募があった。優秀作品7点を参考にして、小委員会で修正案を作成し、原案をまとめ、専門家に依頼して修正を加えた上、委員会の最終案とした。昭和44年3月24日石堂恵俊制定委員会委員長から憲章案が北市長に上申された。市長は上申にもとづき市議会に提出し、3月28日に決議された。

市 民 憲 章

- ・宝塚市は、六甲、長尾連山の緑と、武庫川の清流にはぐくまれた希望と伝統のまちです。
わたしたちは、この恵まれた宝塚の市民であることに誇りをもち、自然と調和する清らかで明るいまちをつくるために、市民憲章を定めます。
わたしたち宝塚市民は、
- ・お互いに理解しあい、助けあい、訪れる人たちを親切にむかえましょう。
- ・自分の行動に責任をもち、きまりをよく守り、人に迷惑をかけないようにしましょう。
- ・いつも健康でほほえみをたたえ、働くことの喜びと誇りをもちましょう。
- ・教養を深め、視野をひろくして、高い文化をきずきましょう。
- ・青少年の声をよくきき、伸びて行くさわやかな力を育てましょう。

(昭和44年5月1日制定)

6 市花・市木・市鳥

市 花 スミレ
市 木 サザンカ、ヤマボウシ
市 鳥 ウグイス、セグロセキレイ

市緑化推進委員会は、昭和43年3月1日、市花に「スミレ」、市木に「サザンカ」を決めた。同委員会は同年2月中旬から、花、木ともに10種類ずつの候補を選び、小・中学生を通じて市民に1万2,000枚のアンケート用紙を配り、回答を求めている。この結果市木には5,644通の回答があり、サクラ(2,194票)、キンモクセイ(1,090票)、ポプラ(624票)、サザンカ(473票)の順であったが、サクラはありふれており、ポプラは落葉樹なので除外し、キンモクセイとサザンカにしぼられたが、気品があり、管理しやすく、11・12月に花を咲かせるサザンカに決まった。

市花には、5,620通の回答があり、そのうちスミレ(1,977票)が圧倒的に多く、スミレの花言葉は「愛と忠実」で宝塚歌劇にもゆかりが深く直ちに決まった。

平成6年、市政施行40周年を契機に今後の自然環境への関心をより高め、シンボルの役割を担うため、市木、市鳥について検討することとなった。市木は、すでにサザンカを選定していたが、大木に比べると迫力に欠けるといった意見等もあり、市民に今後より親しんでもらうため見直しを検討することにしたものである。

市木・市鳥検討委員会は選定に先立ち、平成6年9月2日から10月11日に約5,000人の市民を対象にアンケート調査を実施、この結果に基づき、市木についてはサザンカをそのままとし、新たにアンケート結果では3位だが、市内に自生していることなどからヤマボウシの追加を決定、また市鳥については、アンケートはウグイス、カワセミ、セグロセキレイの順だったが、カワセミは団体数が少ないことで除外し、ウグイスは鳴き声をよく聞くこと、セグロセキレイはよく見かけることで親しみがあることなどの理由からウグイス、セグロセキレイに決まったものである。選定日はいずれも平成7年3月1日。

7 市のあゆみ

S29.	4. 1	宝塚町と良元村が合併、市制施行して宝塚市が誕生する。 第1回宝塚市議会臨時会が第一小学校講堂にて開会。 初代議長に中村吉廣氏、初代副議長に出口春雄氏就任。	1. 29	功労者顕彰条例を制定、初の功労者に故小林一三翁を決定。	
	5. 8	田中九右衛門氏初代市長に当選。	2. 1	西宮保健所宝塚出張所配置。	
	6. 22	一般会計4億2,600万円余の市制初の予算が可決される。	3. 28	仁川小学校完成。	
	7. 1	兵庫県宝塚警察署開設。	9. 20	花屋敷東南斜面分市問題で住民投票実施。現状維持と決定。	
	7. 29	自衛隊演習場、市議会で設置反対決議。	10. 15	故小林一三翁の胸像除幕式。	
	11. 3	第1回市民体育祭（後に市民体育レクリエーション大会と改称）を開催。	12. 14	宝塚新大橋起工式。	
S30.	3. 10	長尾村を編入合併。	S33.	2. 19	旧長尾村（山本地区）へ水道の試験送水を開始する。
	3. 14	西谷村を編入合併。		3. 3	第1回宝塚市宣伝キャラバン隊を山陽東海地方に派遣。
	3. 30	初の市議会議員選挙で36人の議員決まる。		3. 12	県道鳥脇宝塚停車場線（十万道路）起工式。
	4. 1	旧長尾村の一部が伊丹市に編入。		8. 27	深夜に集中豪雨があり、家屋浸水や道路損傷等の被害が発生。
	8. 4	自衛隊演習場問題で兵庫県の斡旋案承認。		10. 29	皇太子殿下行啓。
	10. 1	米谷保育所開所。	S34.	1. 16	抑制いちご栽培普及を計画、苗の冷凍を始める。
	12. 7	第1回宝塚市展開催。（～12.21）		3. 8	水不足解消へ小浜、伊子志水源池の新設を計画。
	12. 9	市庁舎増築完成。		3. 9	3市衛生組合管理の仁川病院解散を議決。
	12. 10～11	第1回宝塚産業まつりを開催。		3. 12	長尾小学校完成。
S31.	3. 12	花屋敷東南斜面地区が川西市へ合併を陳情して、市政に波紋を起こす。		3. 28	市議会議員選挙。議員定数30名に。
	4. 2	市営温泉ボーリング完工式。		5. 10～17	市制5周年記念行事。
	5. 14	田中九右衛門市長が死去。		9. 12	市商工会が発足。
	6. 1	地方財政再建団体の指定を受ける。		9. 20	住宅公団仁川団地の入居始まる。3,000人の市民増加。
	6. 10	2代目市長に田中詮徳氏当選。	S35.	3. 21	西宮市が合併委員会の設置等を申し入れる。
	10. 1	教育委員が任命制にかわり新教育委員が任命される。		4. 1	国民健康保険が全市域に施行。
	10. 21	国体旗リレー本市通過。		4. 18	宝塚新大橋完成、渡りぞめ式実施。
	29	国民体育大会の射撃、馬術、ボクシングを市内で開催。（～10.31）		5. 21	市長選挙で田中詮徳氏再選。
S32.	1. 13	第1回市民の警察官賞を安井巡查に贈る。		11. 1	市の機構一部改革、部長制を配し、市民相談室を設置。
			S36.	3. 31	財政再建完了。

S 36.	5. 13	故平塚嘉右衛門翁の顕彰碑除幕。	S 41.	2. 11	西田川大火、全焼 14 戸、半焼 6 戸。
	6. 7	市 10 年建設計画および 5 年実施計画決まる。		3. 25	特急やくも宝塚駅に初停車。
	7. 15	小浜水源池の送水開始。		4. 1	阪神間初の乳児専門保育所（ゆりかご保育所）開所。
	7. 22	宝塚が国鉄周遊指定地に指定。		5. 7	宝塚保健所完成、業務開始。
	11. 1	仁川簡易水道が市上水道事業へ移管を申し入れる。		6. 13	自動車文庫たから号発車。
S 37.	5. 31	寿楽荘配水池完成。	S 42.	1. 16	新温泉源泉ボーリング開始。
	6. 1	市民サービス促進のため巡察員を配置。		1. 27	人口 10 万人を突破。
	6. 28	安全都市宣言。		4. 1	消費者感謝デー好評のうちに開催。
	12. 18	安全都市推進協議会発足。		4. 28	市議会議員選挙。
	12. 21	新温泉通一帯に商店街の協力で観光灯が できあがる。		7. 9	豪雨で市内各所に被害発生。
S 38.	3. 1	花いっぱい運動をはじめる。		8. 1	松江市と観光姉妹都市提携。
	3. 30	青少年センター完成。		8. 28	阪急宝塚駅と宝塚南口駅周辺地区の市街地改造基本構想発表。
	4. 1	県立宝塚高校開校。	S 43.	3. 1	市花にスマイル、市木にサザンカが決まる。
	4. 25	消防庁舎完成。		4. 1	老人福祉センター開設。
	4. 30	市議会議員選挙。			市交通災害共済制度スタート。
	5. 5	市少年音楽隊が宝塚第一小で結団式をあげる。		5. 7	宝塚商工会館完成。
S 39.	3. 31	都市計画下水路として総延長 1,400m 余の 小林排水路完成。		5. 12	3 代目市長に北俊三氏当選。
	5. 24	市長選挙で田中詮徳氏三選。		6. 6	人口 11 万人になる。
	6. 16	十万道路完成、開通式挙行。		8. 1	スポーツセンター開設。
	7. 10	消防署雲雀丘出張所が完成、雲雀丘支所 も同出張所に移転。		8. 10	市民プール開く。
	10. 17	宝塚観光ダム完成、水上パレードで完成 を祝う。	S 44.	4. 1	事務処理用電算機導入。
	11. 10	市制 10 周年記念式典を宝塚新芸座で開 催。		4. 8	市民会館結婚式 1,000 組達成。
S 40.	1. 6	10 年後の新都市をめざし、市建設審議 会発足。		4. 16	武庫山、山添児童公園完成。
	2. 7	良元小講堂から出火、同講堂と東校舎全 焼。		5. 1	市制 15 周年記念式典挙行。
	3. 30	宝梅中体育館、良元幼稚園舎完成。			市民憲章制定。
	4. 2	ごみ焼却場コンポスト完成。			川面保育所開設。
	5. 26	人口 9 万人になる。		9. 27	武庫川観光大噴水完成。
	7. 14	市建設審議会が建設計画基本構想を公 表。	S 45.	1. 21	消費生活相談員と消費生活相談所を設 置。
				5. 15	中央公民館完成。
				5. 29	宝塚市都市整備公社設立。
				6. 14	兵庫県自然遊歩道の猪名川～宝塚コース 開通。
				7. 12	中世の寺院跡「旧清（もときよし）」の 発掘調査始まる。

S 45.	7. 23	中国縦貫自動車道豊中～宝塚間開通。	S 49.	3. 1	市街地再開発事業の第1号として阪急宝塚南口駅前に「サンビオラ」がオープン。
	10. 31	都市計画区域等を決定。		3. 30	林野庁が北中山国有林を自然休養林に指定。
	11. 30	新焼却炉の本格操業開始。		5. 1	消費生活センターが、オープン。
	12. 23	北俊三市長死去。		6. 4	中国縦貫自動車道宝塚～福崎間開通。
S 46.	2. 7	市長選挙で友金信雄氏当選。		8. 23	市制20周年記念式典開催。
	3. 18	西谷地区の観光農業を推進する宝塚市レジャー農業開発協会設立。		9. 1	開発指導要綱制定。山本野里、山本丸橋地区で公共下水道供用開始。
	4. 16	第1回宝塚植木祭りを開く。	S 50.	2. 2	市長選挙で友金信雄氏再選。
	4. 25	市議会議員選挙。		2. 12	宝塚市史第1巻配本開始。
	5. 16	西谷地区一帯を「宝塚自然休養村」に指定、村開き。		4. 27	市議会議員選挙。
	7. 21	「花とみどりの銀行」を開設、移動銀行を行う。		6. 1	不燃物処分場完成。緑のマスタープラン調査報告書まとまる。
	8. 20	西谷地区に簡易水道が完成、玉瀬で通水式。		9. 15	美術書専門「聖光文庫」オープン。
	9. 13	宝塚市総合計画基本構想決まる。		10. 16	中国縦貫自動車道吹田～落合間開通。
	11. 2	勤労福祉会館、勤労青少年ホームオープン。		10. 22	宝塚観光ダム大修理本格的工事に着工。
S 47.	1. 14	宝塚市斑状歯専門調査会発足。	S 51.	2. 27	財政健全化計画策定。
	4. 14	宝塚新大橋の歩道橋渡りぞめ。		4. 20	健康増進センターが、オープン。
	4. 24	肢体不自由児通園施設「すみれ園」が開園。		8. 2	不用品テレホンバンク発足。
	6. 10	全職員が市民の要望や苦情を聞く「職員広聴マン」制度がスタート。		8. 22	西谷歴史民俗資料館オープン。
	7. 18	深谷貯水ダム完成。		8. 28	安倉土地区画整理事業に着手。
	8. 25～26	市民フェスティバル「宝塚まつり」開催。		10. 4	血液保存センターを設置。
S 48.	4. 1	精神薄弱児通園施設「やまびこ学園」開園。		11. 29	惣川浄水場完成。
	4. 4	花とみどりの協会が発足。	S 52.	3. 29	川下川ダム完成、送水開始。
	4. 6	宝塚市土地開発公社設立。		4. 3	休日応急診療所オープン。
	5. 4	阪急宝塚南口駅前再開発ビルの愛称が「サンビオラ」に決まる。		7. 1	市北部地域開発整備基本計画案まとまる。
	5. 5	青少年野外活動センターに少年自然の家完成。		7. 28	総合医療施設対策審議会発足。
	8. 17	人口15万人を突破。		10. 18	新市庁舎の位置、東洋町（東洋ベアリング）に決まる。
	10. 1	老人医療費等の無料化スタート。		11. 22	宝塚自然休養村の4カ年整備事業に着手。
	10. 4	第1回保健衛生大会開く。	S 53.	4. 21	市民会館結婚式場5,000組を達成。
				5. 1	水道局が東洋町1の東洋ベアリング工場跡地に移転、業務を開始。
				8. 15	市立体育館オープン。

S 53.	10. 1	宝塚大橋のかけ替え工事完成。2組の親子3代らが渡りぞめ。	8. 28	ベガ・ホールのパイプオルガン、カリヨンチャイム完成。	
	11. 16	切畑の不燃物処分地へごみのテスト投棄を開始。	9. 30	市立病院の基本設計できる。	
	12. 17	市民会館で第1回宝塚市民音楽祭。	S 57.	1. 4	漢字オンライン・ファクシミリシステムによる窓口サービス開始。
S 54.	1. 16	新市庁舎の建設工事始まる。	1. 29	婦人問題シンポジウム「たからづか婦人の集い' 82」を開く。	
	2. 4	市長選挙で友金信雄氏3選。	4. 1	東消防署中山台出張所開所。	
	3. 1	第1次公共下水道整備5カ年計画を策定。	4. 13	養護老人ホーム福寿荘が、安倉西3丁目に移転。	
	3. 24	市立図書館の基本設計決まる。	5. 1	「宝塚を美しくする市民運動」がスタート。	
	4. 22	市議会議員選挙。	8. 1	市立病院の建設に着手。	
	5. 21	総合医療施設対策審議会が市民病院設置に向け最終答申を出す。	10. 1	シルバー人材センター設立。	
	8. 23	第2回宝塚市民音楽祭「第9シンフォニーの夕べ」宝塚大劇場で開催。	S 58.	1. 30	市長選挙で友金信雄氏の4選。
	12. 27	光ガ丘～逆瀬川駅間にミニバス運行開始。	3. 10	多角形古墳「中山荘園1号墳」の発掘調査が始まる。	
S 55.	2. 1	新開発指導要綱を施行。	4. 24	市議会議員選挙。	
	2. 9	図書館併設の文化施設の愛称が「ベガ・ホール」に決まる。	9. 28	台風10号による集中豪雨で、大きな被害が発生。	
	2. 17	市民合唱団が発足。	11. 5	阪急逆瀬川駅前地区市街地再開発事業の除去工事が始まる。	
	5. 1	自然休養村センターが、オープン。	12. 25	市立病院の建物工事が完成。	
	5. 20	不燃物埋立処分地の本格投棄開始。	S 59.	1. 15	新清掃工場建設に向けて環境影響評価補完調査報告まとまる。
	5. 27	昭和65年の人口を24万人においた新総合計画が答申される。	4. 10	市制施行30周年記念式典を宝塚市民会館で開く。	
	8. 21	図書館（現：中央図書館）、文化施設ベガ・ホールオープン。	5. 21	市立病院診療業務開始。	
	8. 27	新市庁舎竣工式。	8. 12	第1回宝塚国際室内合唱コンクール開催。	
	9. 1	新市庁舎で業務開始。	8. 30	阪急逆瀬川駅前地区市街地再開発ビル第1棟起工式。	
	9. 1	宝塚支所廃止。住民票の写し、印鑑証明についてテレホンサービス制度スタート。	11. 18	西谷地区で第1回スポーツカーニバル開催。	
S 56.	1. 30	第1回市技能功労者20人を表彰。	S 60.	3. 10	市交通問題市民懇談会が将来のバス交通網のあり方等について提言。
	2. 19	市国際障害者年推進本部を設置。	3. 31	花のみち改修第1次工事が完成。	
	4. 1	国鉄福知山線塚口～宝塚間複線電化工事完成、営業開始。	4. 1	新消防庁舎が伊子志3丁目に開庁。	
	5. 27	ポートピア' 81 兵庫県館市町展示コーナーで本市の展示始まる。	4. 24	近畿市議会議長会を本市で開催。	
	7. 1	福祉都市整備要綱を制定。			

S 60.	5. 5	少年自然の家に天文台オープン。	11. 11	阪急逆瀬川駅前北地区「アピアきた」オープン。
	7. 1	総合福祉センターオープン。		
	8. 20	小浜の町家調査を開始。	H元.	3. 7 非核平和都市宣言。
	9. 7	(仮称)市立体育館起工式。	4. 3・5.13	アメリカジョージア州オーガスタ市と姉妹都市提携。
	10. 24	新清掃工場起工式。		
	12. 7	逆瀬川都市開発株式会社設立。	4. 26	安倉デイサービスセンターオープン。
S 61.	2. 1	議場で青少年一日議会開く。	7. 1	中山台サービスステーション業務開始。
	2. 26	都市景観シンポジウムをベガ・ホールで開催。	9. 21	新し尿処理施設の投入開始式。
	3. 24	運輸省より国際観光モデル地区の指定受ける。	10. 2	女性センター「エル」オープン。
	4. 24	図書館増築工事完成。	10. 22	宝塚ベガ音楽コンクール(第1回)。
	8. 1	中学生をオーストラリアへ派遣。	H 2.	3. 23 宝塚観光ダム改修工事が完成。
	11. 1	国鉄福知山線宝塚～新三田間複線電化工事完成、営業開始。	4. 1	花博開幕、本市も「山のエリア」に出展。
	11. 21	阪急逆瀬川駅前地区市街地再開発ビル第3棟オープン。	4. 6	新市営火葬場竣工式。
	11. 26	市社会福祉審議会が身障者厚生援護施設の設置と運営のあり方について答申。	4. 26	し尿処理施設・粗大ごみ処理施設建替整備工事竣工式。
S 62.	2. 1	市長選挙で友金信雄氏5選。	5. 7	総合計画審議会が「第3次宝塚市総合計画(基本構想・基本計画)」を答申。
	3. 12	逆瀬川駅前に再開発ビル「アピア1・2」オープン。	10. 1	公文書公開、高齢者バス運賃助成、福祉タクシー料金助成事業スタート。
	4. 1	スポーツ教育振興公社発足。	H 3.	2. 3 市長選挙で正司泰一郎氏初当選。
	4. 26	市議会議員選挙。	3. 31	清掃センター整備事業が完了。
	5. 1	総合体育館・武道館オープン。	4. 1	地域利用施設美座会館、光明会館オープン。
	6. 29	宝塚市観光100年記念式典開催。	4. 21	市議会議員選挙。
	10. 30	安倉土地区画整理事業完成。	6. 1	第2・第4土曜日が閉庁となる。
	11. 6	新清掃工場火入れ式。	7. 1	リフト付きタクシー事業開始。ゆずり葉台緑地オープン。
	11. 9	人口20万人を突破。	10. 1	デイサービスセンターがひとり暮らし高齢者に配食サービスを実施。
	12. 1	婦人問題懇話会が発足。		清掃センターがクリーンセンターに名称変更。
S 63.	1. 26	「国際花と緑の博覧会」への出展決まる。	10. 15	村野藤吾生誕100周年記念都市景観フォーラム開催。
	4. 2	阪急逆瀬川駅前アピア新橋渡りぞめ。	11. 29	市同和対策協議会が「今後の同和行政のあり方について」意見具申。
	5. 12	東公民館・東消防署オープン記念式典。		
	6. 17	国際交流協会設立発起人会できる。	H 4.	1. 1 すみれ園・やまびこ学園が安倉中3丁目へ移転。
	8. 3～8	高校総体バドミントン競技大会本市で開催。	3. 7	ソリオ宝塚都市開発株式会社設立。
	10. 17	国際交流協会発足。		

H 4 . 3 . 10	ソリオ宝塚オフィス棟分譲開始。	4 . 25	手塚治虫記念館オープン。
3 . 22	武庫川リパースポーツフェスタ開催。	5 . 18	国道 176 号宝塚駅前地下化部分供用開始。
4 . 13	中山台コミュニティセンターオープン。	8 . 4	手塚治虫記念館前に平和モニュメントを設置。
5 . 23・24	旧橋本関雪邸の庭園公開。	8 . 24	夢薫るワイン「花の宝塚」発売。
6 . 18	第 1 回市民対話集会開催。	9 . 10	小浜宿資料館オープン。
6 . 29	宝塚女性ボード発足。	9 . 16	市内全域で減圧給水開始。
7 . 20～29	アメリカ・州立コロラド大学へ障がい児ら派遣。	9 . 26	ポイ捨て禁止条例可決。
9 . 1	屋内温水プールがオープン。	10 . 18	ウィーン市第 9 区（通称アルザーグルント）と姉妹都市提携。
9 . 12	学校週 5 日制が、始まる。	10 . 21	男女共同参画都市宣言を行う。
10 . 22	市内主要道路の愛称決まる。	11 . 13	宝来橋完成。完成を祝うバイオレットパレード開催。
11 . 3	車いすウォークラリー実施。	12 . 23	武庫川新橋完成。
12 . 20	アピアふれあい広場「第 1 回まちかどコンサート」開催。	H 7 . 1 . 17	阪神・淡路大震災発生。（震源地：淡路島、規模：マグニチュード 7.2、最大震度 7）死亡者 117 人、負傷者 2,201 人、全壊家屋 3,800 棟、半壊 8,881 棟、交通網寸断、ライフライン途絶など立市以来最大の惨事となる。
H 5 . 1 . 26	安倉南土地区画整理事業完成。 女性センターが宝塚駅前再開発ビル内に移転、オープン。	5 : 46 am	この日午前 6 時災害対策本部を設置、被災者救援活動を開始。 この後、全国各地から多数の救援物資などがよせられ、また自衛隊、自治体応援職員、多数のボランティアがかけつけ、救援活動にあたる。
4 . 8	国際・文化センターがオープン。	1 . 18	避難所数 65 カ所、避難人員 15,945 人の最大避難者数を記録する。
4 . 15	ソリオ宝塚がオープン。	1 . 19	震災で被害を受けた J R 宝塚線、阪急宝塚線復旧完了。
4 . 19～21	ネパールへ消防車と救急車を寄贈。	1 . 20	市議会が任意で設置した災害対策特別委員会が開かれる。
4 . 28	教育総合センターオープン。	1 . 21	一部を除き、幼稚園、小・中学校開校。
6 . 1	市役所すべての土曜日が閉庁となる。	1 . 22	正司泰一郎氏が無投票で再選。仮設住宅の第 1 次募集開始。（1 月 25 日まで）
6 . 5	テレホンガイドスタート。	1 . 27	震災で被害を受けた中国自動車道の応急復旧完了。
10 . 13	知的障害者支援センター竣工式。	1 . 29	市役所に仮設浴場設置。
10 . 18	日本酒「おお宝塚」発売。		
10 . 29	福島県須賀川市から 230 年ぶりに里帰した牡丹の記念植樹式。		
11 . 23	第 1 回たからづか楽市開催。		
H 6 . 2 . 14	高齢者保健福祉計画「ゴールドプラン宝塚」まとまる。		
3 . 18	阪急宝塚駅 1 階に総合観光案内所オープン。		
4 . 1	文化振興財団、宝塚アーバンサービス株式会社設立。		
4 . 5	高司グラウンドオープン。		
4 . 6	市制 40 周年記念式典が宝塚大劇場で開催。		
4 . 11	西公民館オープン。		
4 . 21	西図書館オープン。		

H7. 1. 30	震災で被害を受けた阪急今津線の宝塚～仁川間が復旧。 中学校給食、簡易給食で再開。 宝塚音楽学校授業再開。	3. 17	重点復興3地区の都市計画決定。 市仏教会による追善供養合同法要実施。
2. 1	震災復興本部設置。小学校給食、簡易給食で再開。	3. 19	自衛隊野営風呂終了。2月3日の設営以来5,812人が利用した。
2. 5	阪急今津線全線復旧。	3. 24	小学校卒業式。震災で犠牲となった児童にも卒業証書授与。
2. 6	仮設住宅入居開始。	3. 25	ガス応急復旧完了。
2. 8	仮設住宅の第2次募集開始。(2月11日まで) 震災復興本部会議で阪急仁川駅前地区、阪急売布神社駅前地区、花の道周辺地区を重点復興地区に指定。これら地区の建築制限を実施。	3. 26	仮設住宅の第3次募集開始。(3月28日まで)
2. 12	逆瀬台地区の避難勧告解除。山本自治会による合同慰霊祭開催。	3. 29	復興促進区域8カ所を指定。
2. 18	宝塚朝鮮初級学校再開。	3. 31	N T T宝塚営業所に地震計設置。 宝塚大劇場再開。
2. 23	避難勧告全面解除。	4. 1	市立看護専門学校開校。小・中・養護学校、幼稚園第4土曜日も休みになる。 宝塚市保健福祉サービス公社設立。
2. 24	水道応急復旧完了。	4. 3	雲雀丘出張所が移転・新築し、オープン。
2. 28	ボランティア本部解散。これまでに活動したボランティアは約1万2千人にのぼる。	4. 12	新泉源掘削工事再開。
3. 1	震災で被害を受けた手塚治虫記念館が再開。 市木にヤマボウシ、市鳥にウグイス、セグロセキレイを選定。	4. 15	がれき撤去の自衛隊が撤収し、本市での自衛隊の救援活動が終わる。
3. 4	手塚治虫記念館入場者が50万人を突破。	4. 23	市議会議員選挙。
3. 5	犠牲者合同慰霊祭開催。皇太子殿下、同妃殿下もご出席される。	4. 26	国道176号線宝塚駅前区間開通。
3. 8	市議会開会。震災の当初予算は骨格となり、施政方針も簡素なものとなる。	5. 1	小林フラワーガーデンオープン。住宅供給促進のため開発指導要綱緩和。
3. 12	阪神・淡路復興計画のシンボルマークを手塚治虫氏の「火の鳥」に決定。	5. 23	企業ボランティア解散式。
3. 13	震災廃材の野焼き中止。 中学校卒業式。震災で犠牲になった生徒にも卒業証書授与。	5. 28	震災で中止していた宝塚朝市再開。
3. 15	第1次補正予算案(4月1日付)市議会に提出。	5. 31	避難所完全閉鎖。
		6. 1	口腔保健センターオープン。
		6. 30	震災復興計画策定。
		7. 3	老人保健施設ステップハウス宝塚オープン。
		7. 7	野上仮設住宅にふれあいセンターオープン。
		7. 13	仁川、売布地区の再開発事業で住宅都市整備公団と基本協定を締結。
		7. 20	「たからづか住宅復興3カ年計画」を発表。
		10. 1	ごみの細分別収集スタート。
		10. 27	フラワー都市交流連絡協議会に加盟。

H7. 10. 30	災害復興住宅の一元化募集第1次分の申し込み開始。(11月15日まで)	H9. 1	震災で建て替え工事等を行っていた長尾中学校、宝塚小学校、宝塚第一中学校で再建竣工式が行われる。
11. 2	都市計画道路宝塚池田線の一部供用スタート。	2. 27	災害復興住宅の一元化募集第3次分の申し込み開始。(3月19日まで)
11. 8	売布神社駅前再開発事業現地事務所を開設。	3. 24	行財政改革第2次推進計画を策定。
12. 2	被災した阪神競馬場が再開。	3. 31	市民会館閉館。 災害復興公営住宅の武庫川住宅、安倉南住宅、中筋山手住宅が完成。
12. 14	宝塚警察署が新築、移転。	4. 1	宝塚市公式ホームページ開設。 各種証明や写しの交付手数料、女性センターやベガ・ホールの使用料などを改定。 水道料金・下水道使用料などに消費税を転嫁。 市税納期の一部変更や前納報奨金を廃止。組織・機構の見直し、係制廃止。
H8. 1. 17	阪神・淡路大震災犠牲者追悼式典を開催。防災総合訓練を武庫川河川敷公園で実施。	5. 16	島根県松江市との観光姉妹都市30周年を記念する式典が松江市で開催。
3. 1	自主防災市民のつどい開催。	7. 13	花屋敷つつじガ丘で土砂崩れ発生。一家4人が犠牲となる。
3. 5	人権尊重都市宣言を行う。	8. 28	売布神社駅前地区市街地再開発事業に着手。
3. 20	阪神・淡路大震災の犠牲者に捧げるレクイエムを市民会館で開催。	9. 26	花のみち周辺地区市街地再開発事業に着手。
3. 22	花の道再開発計画認可。	10. 13	市立病院・西病棟の増築工事が完成。
3. 26	宝塚市行財政改革大綱を発表。	11. 28	災害復興公営住宅の亀井住宅が完成。
4. 1	ポイ捨て禁止条例本格的に施行。	H10. 3. 5	温泉水の市民給湯を開始する。
4. 15	都市計画道路宝塚仁川線の伊子志工区開通。	4. 1	高齢者や障がい者を対象とする財産管理サービスを開始。 スポーツセンター駐車場を有料化。 高齢者入浴料金助成の対象年齢を引き上げる。 青空駐車場、洗車場及び資材等置場の設置に関する条例が施行。 開発許可などの事務権限が県から市に委譲。
4. 16	都市計画道路宝塚池田線美幸町～高司間開通。	4. 21	中山荘園古墳が国史跡に指定。
4. 23	マイタウン・マイリバー整備事業が建設省に認定される。		
5. 20	良元小に耐震性貯水槽完成。		
6. 20	武庫山での新泉源掘削に成功したことを発表。(湯量毎分約200ℓ、湯温約38度、掘削深度約15,000m)		
7. 26	大震災の影響で普通地方交付税の交付団体となる。		
7. 30	災害復興住宅の一元化募集第2次分の申し込み開始。(8月20日まで)		
9. 10	環境都市宣言を行う。		
9. 28	行財政改革推進委員会第1次意見具申・提言が行われる。		
10. 14	行財政改革第1次推進計画を策定。		
10. 25	国指定重要文化財の中筋八幡神社本殿修復完了。		
11. 16	手塚治虫記念館の入館者100万人突破。		

H10.	5. 1	中筋山手5・6・7丁目を新たに住居表示として設定。	9. 15	花のみち1・2番館がオープン。
	6. 30	災害復興公営住宅の安倉西住宅が完成。	9. 18	財政悪化により新市民ホールの建設休止など40事業を休止・縮小。
	9. 8	健康都市宣言を行う。	9. 25	コミュニティFM「エフエム宝塚」開局。
	9. 30	仮設住宅からの転出がすべて完了。	10. 10	都市計画道路宝塚仁川線（伊子志1～小林4）を供用開始。
	10. 1	障害者自立生活支援センターがオープン。山手台北公園が完成。武庫川左岸の河川敷にコスモス園がオープン。	11. 3～10	第1回宝塚映画祭開催。
	10. 18	（仮称）長尾山トンネル貫通式。	12. 31	世紀越えイベントの開催。
	11. 1	市立病院の増改築工事が完了し、診療科目の新設や増床を行う他、二次の救急業務を開始。	H13. 2. 19	情報通信技術（IT）推進本部を設置。
H11.	3. 14	市議会議員選挙、市長選挙が同日実施され、新議員が決定。正司市長が3選。	3. 1	初の宝塚市大使（11人）を委嘱。
	3. 20	地域振興券の対象者への交付開始。	4. 1	第4次総合計画がスタート。阪神北県民局が開設。
	4. 1	ペットボトルの分別収集を開始。知的障害者居住施設いきいき宝塚（ほーむ）がオープン。緑のリサイクルセンターが稼働開始。介護休業給付制度が実施。		粗大ごみ有料化、家電リサイクル法がスタート。
	7. 1	市内最古の民家、旧和田家住宅が歴史民俗資料館としてオープン。	4. 14	小浜工房館がオープン。
	7. 23	宝塚ダイオキシン訴訟の和解が成立。	4. 21	長谷牡丹園が開園。
	9. 2	オーガスタ市長ボブ・ヤング氏に、特別名誉市民の称号を贈呈。	4. 25	長尾山トンネル道路が開通。
	10. 29	売布神社駅前に、再開発ビル「ピピアめふ」がオープン。ビル内に売布神社駅前サービスステーションを開設、また消費生活センターを移転する。	5. 15	宝塚市民証の交付事業を開始。
H12.	3. 27	春日野八千代氏と故手塚治虫氏に名誉市民の称号を贈呈。	8. 1	観光噴水（ビッグフェニックス）が復活。
	4. 1	介護保険制度がスタート。	8. 1～5	See！阪神淡路キャンペーン 宝塚観光プロムナードフェスティバル開催。
	4. 15	園芸振興施設「あいあいパーク」がオープン。センター内の共同利用施設山本会館が供用開始。	H14. 1. 30	市立宝塚温泉オープン。
	5. 2	宝塚市、伊丹市、川西市、猪名川町の3市1町で構成する「阪神北部広域行政研究会」が発足。	3. 27	仁川・売布の山手住宅地域に路線バス運行開始。
	5. 8	園芸振興センターに移転した長尾支所が執務を開始する。	4. 1	「まちづくり基本条例」「市民参加条例」施行。
			6. 1	老人福祉センターと大型児童センターの複合施設「フレミラ宝塚」オープン。
			8. 5	住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）が稼働。
			10. 1	安倉南デイサービスセンターと安倉児童館の複合施設がオープン。
			H15. 3. 1	手塚治虫記念館リニューアルオープン。
			3. 6	仁川駅前地区市街地再開発事業「さらら仁川」グランドオープン。

H15. 4. 1	女性センターが、男女共同参画センターに名称変更。 御殿山あゆみ保育園と御殿山児童館の複合施設がオープン。 宝塚市が特例市に移行。	10. 20	台風 23 号により、市内の家屋の被害が全壊 1 戸、半壊 22 戸、一部損壊 16 戸、床下浸水 7 戸。また一部路肩崩壊などにより、県道生瀬門戸荘線、市道 1504 号線などが通行止となる。
4. 7	宝塚ファミリーランドが閉園。	H17. 3. 25	宝塚市議会 50 年史発刊。
4. 10	勤労市民センターがオープン。	3. 27	小林土地区画整理事業が竣工。
4. 27	市議会議員選挙、市長選挙が同日実施され、新議員が決定。市長選では、渡部完氏が初当選。	4. 1	水道事業と下水道事業が統合され、上下水道局が発足。 安心メールの配信開始。
6. 22	市立宝塚温泉が一時休館。	4. 4	阪急仁川駅前から JR 中山寺間に路線バスの試走運行を開始。
7. 15	本庁舎を全面禁煙。	4. 7	仁川小学校の新築工事が完了し、新校舎で始業式を迎える。
8. 1	アトム 110 番連絡車スタート。	4. 25	J R 宝塚線（福知山線）塚口～尼崎駅間で快速電車が脱線。宝塚市民を含む死者 107 名、負傷者 500 名以上の大惨事となる。
8. 25	住基ネットワーク第 2 次サービス開始。	6. 1	青色回転灯防犯巡回パトロール車を導入。
9. 26	宝塚ファミリーランド跡地に、宝塚ガーデンフィールズがオープン。	10. 1	宝塚市開発事業における協働のまちづくりの推進に関する条例を施行。
10. 1	身体障害者補助犬法が全面施行。	11. 1	地域利用施設、児童館、サービスセンターと農業振興施設との複合施設西谷ふれあい夢プラザがオープン。
11. 5	阪神タイガース・今岡誠選手に特別表彰を贈呈。	11. 12～	おいしいまち宝塚2005開催（第 1 回）。
12. 7	身体障害者補助犬シンポジウム開催。	12. 11	
H16. 3. 31	市民交通災害共済事業を廃止。	11. 29～	宝塚市でトッププレーヤーによる全日本
4. 1	市制施行 50 周年、宝塚歌劇 90 周年。	1. 4	総合バドミントン選手権大会開催。
4. 24	防災公園末広中央公園がオープン。	12. 23	第 1 回宝塚ハーフマラソン大会開催。
5. 2	少年自然の家が日帰りの自然体験型施設としてリニューアルオープン。	H18. 1. 4	ワンストップサービス（総合窓口サービス）を開始。
5. 30	スローライフ・シンポジウム開催。	2. 14	市立宝塚温泉に岩盤浴を導入しリニューアルオープン。
7. 1	夜間花火規制条例を施行。	2. 15	市議会議員定数条例改正し、次回の一般選挙から 26 人に削減。
8. 1	市立病院がセカンドオペニオン外来開設。	3. 6	収賄容疑で逮捕された渡部完市長が辞職。（2月14日辞職願提出）
8. 23	手塚治虫記念館の開館以来の入館者が 250 万人を達成。		
9. 4	宝塚駅前サービスステーションで土日に住民票などの発行業務を開始。		
9. 25	市制施行 50 周年記念式典を総合体育館で開催。		
9. 29	市立宝塚温泉がリニューアルオープン。		
10. 15	市観光案内所が阪急宝塚駅 2 階改札口正面に移転。		

H18. 4. 1	福祉施設、文化施設、地域利用施設等への指定管理者の導入が本格化。 障害者自立支援法が施行され、障害の種別によるサービスの一元化が図られる。 介護保険法が改正され、予防重視型システムへの転換が図られる。	5. 22	議長、副議長、監査委員の各選挙に立候補制を導入することを決定する。
4. 9	市長選挙で、阪上善秀氏が初当選。	9. 8～	団塊世代の地域デビューを応援するため、団塊塾（づか塾）を開講。
9. 5	本会議一般質問に問一答式を導入。	3. 15	本会議場で、市民が参加する議会研修会を初開催。
9. 30～	のじぎく兵庫国体が開催。本市ではバドミントン競技とゴルフ競技を開催。	H20. 1. 23	市観光案内所、温泉水の市民給湯場を廃止。
10. 10	本会議一般質問のFM放送を開始。	3. 31	伊丹市、川西市、猪名川町と共同で、阪神北広域こども急病センター開設。
10. 20～	宝塚 水と光の彩り 2006 開催（第1回）。	4. 1	市立山本南保育所が民間化。私立山本南保育園としてオープン。
10. 22	国指定史跡「中山荘園古墳」一般公開開始。		少年自然の家を宝塚自然の家と改称。
12. 25	安倉南2丁目のカラオケ店建物火災。懸命の救助・救命活動にもかかわらず、3名が死亡、5名が負傷。	7. 4～	長寿医療制度（後期高齢者医療制度）が施行される。
H19. 1. 20	最高裁が上告棄却を行ったため、経過利息を含めた4億9千万円余の賠償金をパチンコ事業者へ支払うこととする大阪高裁控訴審判決が確定。	8. 1	手塚治虫生誕 80 周年記念企画展「手塚治虫の5つの刻」開催。
2. 16	官民連携の「宝塚市中心市街地活性化協議会」を発足。	8. 24	県立宝塚西谷の森公園オープン。
3. 24～	小中高生が運営するまち「ミニたからづか」開催。	8. 24	宝塚すみれ墓苑 開苑式。
3. 26	プラスチック類の分別・収集開始。	9. 18	長尾山古墳から摂津地域最古の朝顔型埴輪列(8基)が出土。
4. 1	市職員の人事評価システムを導入。「公募型補助金制度」を創設。	10. 8	宝塚まちづくり会社の経営再建のため、同社の短期借入金6億円について損失補償を行う旨の専決処分を承認。
4. 9	長尾小学校の新築工事が完了し、新校舎で始業式を迎える。	11. 9	清荒神清澄寺史料館オープン。
4. 22	市議会議員選挙。条例改正により今期から議員定数は26名に。	H21. 2. 16	本会議場で、議会コンサートを初開催。
5. 1	逆瀬川駅前地域の活性化を目指し、商業とコミュニティの核となる「宝塚まちづくり会社」を設立。	2. 27	収賄容疑で逮捕された阪上善秀市長が辞職。（2月26日辞職願提出） 「宝塚まちづくり会社」が破産。
5. 9	西宮公共職業安定所（ハローワーク西宮）と提携し宝塚市地域職業相談室を開設。	4. 1	西谷認定こども園オープン。 開発ガイドラインが見直し施行され、規制を強化。
		4. 25～	宝塚文化創造館が期間限定オープン。
		5. 10	
		4. 19	市長選挙で、中川智子氏が初当選。
		4. 28	新型インフルエンザ対策本部設置。
		5. 10	初代観光大使サファイア2名を決定。
		12. 10	庁内プロジェクトチーム「チームたからづか」結成。

H22. 1. 17	阪神・淡路大震災 15 周年「宝塚・語り つぐ震災～安心安全なまちをめざして」 開催。	3. 11	宝塚市から被災地に、救援物資や見舞金 を届けるとともに、緊急消防援助隊、給 水応援隊、医療チームや炊き出し隊等を 継続して派遣。
2. 20	J R宝塚駅の橋上化工事が完了し、新駅 舎が開業する。	4. 1	宝塚市議会基本条例を施行。
3. 10	阪急電鉄開業 100 周年。		第 5 次宝塚市総合計画がスタート。
3. 22	第 1 回「宝塚学検定」を実施。	4. 23	映画「阪急電車 片道 15 分の奇跡」関 西地区の映画館で先行ロードショー。
4. 1	不正、不祥事防止のため、4 月 1 日を 「誓いの日」に。 「赤ちゃんの駅」事業を開始。 市立病院緩和ケア病棟を設置。 再任用職員で構成する「チームこれから だ」結成。 新たに花屋敷緑ガ丘の町名を設定。 子ども手当法施行、6 月から支給開始。	4. 24	市議会議員選挙。
		5. 1	議会報かけはし第 205 号から毎号全ペー ジ、フルカラー印刷に。
4. 25	フラワー都市交流連絡協議会総会を宝塚 市で開催。	5. 27	6 月定例会から、賛否の公表、反問権の 運用を開始。
5. 1	議会報かけはし第 200 号発行。	7. 1	宝塚市公正な職務執行の確保に関する条 例を施行。
5. 16	あいあいパーク 10 周年記念で、2 組が 人前結婚式で挙式。	7. 15	宝塚文化創造館が本格オープン。
6. 1	大正時代の洋風建築「安田邸」（雲雀丘 1）の寄贈を受ける。 職員の勤務時間中の全面禁煙を開始。 市立病院緩和ケア病棟開設。	8. 7	第 1 回議会報告会を開催。
8. 23	2010FIFA サッカーワールドカップ南ア フリカ大会日本代表の岡崎慎司選手(宝 塚市出身・清水エスパルス所属)に宝塚 市特別賞を贈呈。	9. 9	9 月定例会から、常任委員会に自由討議 を導入。
11. 10～	(社)全日本菊花連盟全国大会を、宝塚市 で開催。	11. 5	第 1 回宝塚だんじりパレード。
11. 12		11. 12～13	キンボールスポーツチャリティカップ・ 宝塚 2011 全国大会。
H23. 1. 22	宝塚市議会基本条例の制定に向け、市内	H24. 2. 13	宝塚市が景観行政団体に。
～ 1. 28	7カ所で市民の意見を聴く会を開催。	4. 17	新名神高速道路（仮称）宝塚北スマート インターチェンジの連結許可。
3. 11	東日本大震災発生。日本観測史上最大の マグニチュード 9.0 を記録。大津波によ り東北・関東地方太平洋沿岸部は壊滅的 な被害を受け、福島第一原子力発電所 では大量の放射性物質の放出を伴う重大な 原子力事故となる。	7. 1	宝塚市議会の議決すべき事件を定める条 例を施行。
		7. 13～15	議会報告会の開催を市内 2 会場から 3 会 場へ。
		7. 14	宝塚市子ども委員会を開催。
		9. 4	9 月定例会から、本会議のインターネット 中継を開始。
		H25. 1. 18	新名神高速道路川下川橋連結。
		4. 14	市長選挙で中川智子氏が再選。 同日、市議会議員補欠選挙を実施。
		4. 15	新たに売布自由ガ丘の町名を設定。
		6. 18	宝塚市自治会連合会事務所がアピア 2 に オープン。

H25.	7. 12	市庁舎火災事案が発生。市民2名と職員4名が負傷（中等症及び軽傷）、市庁舎1階で火災被害を受けた面積約2,200㎡のうち1,442.2㎡が焼損した。火災発生後、本庁舎内の会議室に仮の事務所を移転し、7月16日から業務を再開した。	3. 14	JR 宝塚駅改札前に介助犬シンシアモニュメントを設置。
	9. 1	市立売布北グラウンドの供用開始。	3. 15	宝塚市議会 60 周年記念誌発刊。
	10. 1	宝塚市自転車の安全利用に関する条例を施行。	4. 26	市議会議員選挙。
	11. 12	市立病院が兵庫県より「地域医療支援病院」に承認。		
	12. 24	宝塚ガーデンフィールズ閉園。		
H26.	3. 20	「モノ・コト・バ宝塚」のアンテナショップがソリオ宝塚にオープン。		
	3. 29	宝塚大劇場市民貸切公演を実施。		
	4. 19	市制 60 周年記念式典を宝塚ホテルで開催。		
	4. 25	市立手塚治虫記念館開館 20 周年記念セレモニー開催。		
	7. 13	第1回宝塚市議会意見交換会を開催。		
	8. 11	手塚治虫記念館の開館以来の入館者が350万人を達成。		
	10. 12	宝塚ランニングフェスティバルを阪神競馬場で開催。		
	10. 23	市議会フェイスブック運用開始。		
	11. 1	TAKARAZUKA 1万人のラインダンスで、ギネス記録達成。公式記録人数4,395人。		
	11. 9	宝塚大劇場市民貸切公演を実施。		
	11. 14	全国男女共同参画宣言都市サミット開催。		
	12. 18	歌劇のまち宝塚条例を施行。		
H27.	1. 17	阪神・淡路大震災 20 年・宝塚市犠牲者慰霊式開催。		
	1. 23	市議会 60 周年記念シンポジウム ～市民と共に歩む市議会をめざして～ を開催。		
	3. 1	市制 60 周年記念誌絵本「宝塚市の 60 年」発刊。		